

ミッション	救急医療、がん診療を重点に急性期病院としての力を強めるとともに、地域医療を担う人材を育成する。
ビジョン	①救急医療の拡充を図るとともに、がん診療指定病院として一つ上の水準を目指す、あわせて災害拠点病院に準ずる備えをもつ。 ②より総合性と専門性を高め、医療の質の向上と医師養成を一体的に取り組む。 ③健康の社会的阻害要因(SDH)の視点を日常診療に活かし、ヘルスプロモーションに取り組む。 ④4つのセンターを軸に、チーム医療のレベルアップを図り、職員が学び成長する働きやすい病院となる。

戦略目標	重要成功要因	評価指標	2014年度現状値	目標値	現状値の振り返り (7月13日)
強い医療生協を作る視点 がん診療の件数が増える。	①がんの手術や治療件数が増える。 ②地域医療機関と連携して治療が継続されている。 ③がん登録の患者がフォローできている。	①胃、肝胆膵、食道、乳、肺、婦人科、泌尿器、血液がん等の治療数 ②法人外のがんの紹介、逆紹介数 ③がん登録数	①2014年度実績 全662件 当院での治療71% 消化管 284件、肝胆膵 24件 肺 9件、乳がん 14件 婦人科 26件、泌尿器 26件 皮膚 9件、血液 12件 ②紹介数 全194件 (内当院で治療できる件数118件) ③841	①2014年度実績を超える ②紹介数200件を超える ③がん登録数 1000件	①1-5月退院患者 200件 (緩和ケア除く) ② ③2015年2月まで 126件
利用者の要望の視点 がんについての治療や相談を受ける事ができる。	①健診から治療、緩和、社会復帰までの、様々な場面に沿った情報提供ができる。 ②がん検診をすすめ、健診後の精査を促進する。 ③難易度の高い疾患、症例でも、治療を受ける事ができる。 ④法人内院所からの紹介を受け、連続した治療ができる。	①がん支援センターでの相談件数と情報提供の内容 緩和ケア病棟の入院数 がん患者の社会復帰支援件数 ②がん検診数、健診で発見された方のフォロー数 ③外保連手術指数の件数 ④法人内院所からの紹介数	①測定指標なし ② ③消化器 全667件 高難度 48件(7.2%) 中難度 230件(37%) ④318件の紹介(120医療機関)のうち法人内院所からの紹介件数90件 +がんと診断された人の件数82件(2013年度)	①新指標 ② ③2014年度を超える ④2014年度を超える	①がん相談数 193件 ②未算出 ③消化器252中 高難度17(7%) 中難度88(35%) ④
確かな仕事づくりの視点 他院との連携でスムーズな治療や療養の継続ができる仕組みを作る。	①がん拠点病院や地域事業所と連携し、スムーズな治療を行う事ができる。 ②緩和ケアチームの積極的に活用し、診断早期から多くの不安や痛みに対応する事ができる。 ③各種チーム(緩和、化療等)のガイドラインに沿ったクリパスが運用されている。	①がん診療連携拠点病院加算 がん治療連携管理料 がん患者指導管理料 ②緩和ケア回診数とその内容 ③地域事業所との合同カンファレンス開催数 当院で化学療法を初めた人数 当院で採用しているレジメン数 キャンサーボードの開催数(臓器別)	①がん診療連携拠点病院加算 がん治療連携管理料 0件 がん患者指導管理料 I 平均24.8件、II 平均12.5件 ②緩和ケア回診数104件 ③がん患者に関する療養支援会議 1件 レジメン数 全281件 キャンサーボード289件 (4/1~9/15)	①2014年度を超える ②2014年度を超える ③2014年度を超える	①がん診療連携拠点病院加算 4月12件、5月13件 がん治療連携管理料 0件 がん患者指導管理料 I 平均34.5件、II 平均12.5件 ②緩和ケア回診数 27回 ③がん患者に関する療養支援会議 25件 レジメン数 全108件 キャンサーボード 110件 (消化器内科、乳腺、外科、呼吸器)
育ちあいの視点 がん診療に対応できる職員集団を作る。	①化学療法を専門とする職員の育成をする。 ②各種認定、資格取得、論文を発表する。	①認定資格取得者数 ②合同カンファレンスの件数 症例検討数	①緩和ケア認定NS 2人、 がん化学療法認定NS1人、 乳癌看護認定NS 1人、 緩和ケアDR がん治療認定医7名、 暫定教育医2名 がん支援相談員 1人 ②測定指標なし	①がん専門支援相談員1名 ②年間 症例	①研修中 ②